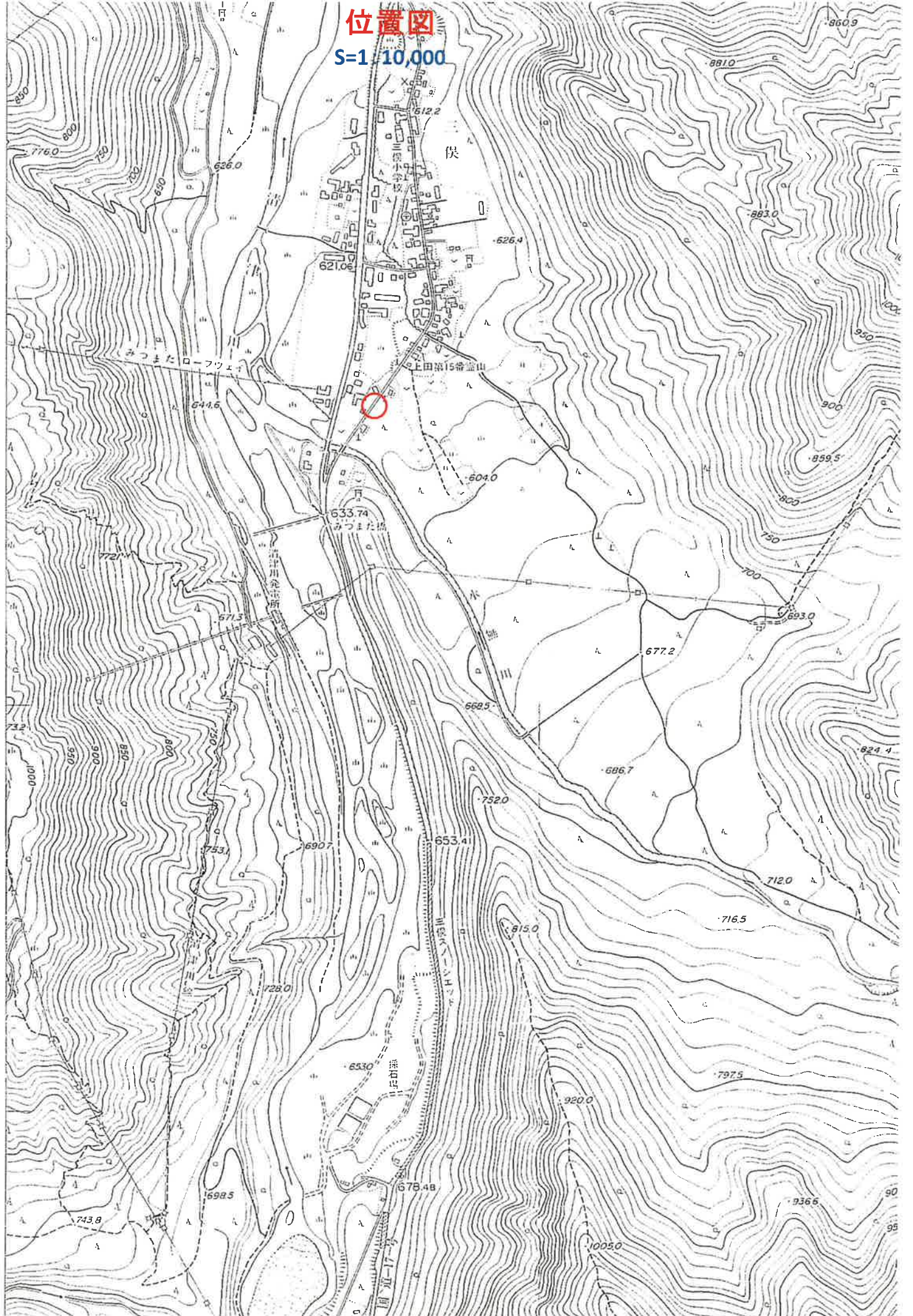


位置図
S=1/10,000



新潟県 橋梁台帳(1.橋梁概略諸元)

橋梁番号 (分割番号)	150-0	フリガナ 橋梁名	二級市町村道 どんどん橋	上下線 歩・車	分難なし 車道橋	市町村	湯沢町	管理区分	2	作成日 更新日	2012/2/10
道路種別	6	種	芝原・三俣線	橋梁種別	1	架橋位置	起点側	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
路線名	56	種	級	有料区分		架橋位置	終点側	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
道路規格	2	種	級	センサス	年次	距離	15461	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
緊急輸送道路	2	種	級	交通量	台/日	距離・緯度	15461	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
路面位置	1	種	級	交通管制状況	台/日	道路台帳番号	E 138-46-36.80	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
上部工構造形式	20	種	級	迂回路		位置情報	K	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
上部工材料	3	種	級	交差種別/名称	1	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
床版材料	2	種	級	河川種別/管理者		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
下部工基礎		種	級	第三者 被害 危険性		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
橋長	6.5	種	級	塩害区分	9	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
連数・径間数	連 /	種	級	海岸線からの概算距離	外	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
幅員構成	5.10	種	級	凍結防止剤散布計画		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
内訳	車道 4.40	種	級	塩害の有無		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
適用方書	歩道	種	級	対策の有無		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
橋格		種	級	鋼部材 防食		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
重要度区分(耐震)		種	級	塗装面積	m ²	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
設計荷重		種	級	架設年次	不明	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
耐荷荷重		種	級	竣工	年 月	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10

橋梁番号 (分割番号)	150-0	フリガナ 橋梁名	二級市町村道 どんどん橋	上下線 歩・車	分難なし 車道橋	市町村	湯沢町	管理区分	2	作成日 更新日	2012/2/10
道路種別	6	種	芝原・三俣線	橋梁種別	1	架橋位置	起点側	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
路線名	56	種	級	有料区分		架橋位置	終点側	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
道路規格	2	種	級	センサス	年次	距離	15461	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
緊急輸送道路	2	種	級	交通量	台/日	距離・緯度	15461	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
路面位置	1	種	級	交通管制状況	台/日	道路台帳番号	E 138-46-36.80	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
上部工構造形式	20	種	級	迂回路		位置情報	K	湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
上部工材料	3	種	級	交差種別/名称	1	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
床版材料	2	種	級	河川種別/管理者		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
下部工基礎		種	級	第三者 被害 危険性		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
橋長	6.5	種	級	塩害区分	9	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
連数・径間数	連 /	種	級	海岸線からの概算距離	外	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
幅員構成	5.10	種	級	凍結防止剤散布計画		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
内訳	車道 4.40	種	級	塩害の有無		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
適用方書	歩道	種	級	対策の有無		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
橋格		種	級	鋼部材 防食		位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
重要度区分(耐震)		種	級	塗装面積	m ²	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
設計荷重		種	級	架設年次	不明	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10
耐荷荷重		種	級	竣工	年 月	位置情報		湯沢町	大字三俣	架橋位置	2012/2/10



現地写真 全景(桁がわかる側面の写真)

現地写真 近景(路面のわかる写真)

備考

マイクロフィルム番号



No. 21

どんどん橋

損傷状況写真

横桁 G3-G4

漏水・耐水



No. 22

どんどん橋

損傷状況写真

床版 Ds02 (A 2側)

変色 400×700



No. 23

どんどん橋

損傷状況写真

A1橋台

豆板 850×1650



No. 24

どんどん橋

損傷状況写真

A1橋台

うき 850×2200



No. 25

どんどん橋

損傷状況写真

A1橋台

漏水・遊離石灰 700×900



No. 26

どんどん橋

損傷状況写真

A1橋台（側面）

剥離 250×400

鉄筋露出 600×1600



No. 27

どんどん橋

損傷状況写真

A1橋台（側面）

剥離・鉄筋露出 300×400

剥離・鉄筋露出 500×1600



No. 28

どんどん橋

損傷状況写真

A2橋台

剥離 450×1600

数量集計表

項目	規格	単位	A1橋台	A2橋台	合計	備考
上部工補修工						
注入工法	エポキシ樹脂	m	---	---	0.9	0.2mm以上0.3mm未満
	"	m	---	---	4.3	0.3mm以上
断面修復工	推定損傷厚 t=30mm	m ²	---	---	0.368	
		m ³	---	---	0.011	
下部工補修工						
切削工	推定損傷厚 t=100mm, 50mm	m ²	1.79	0.76	2.55	A1:t=100mm, A2:t=50mm
		m ³	0.179	0.038	0.217	
断面修復工		m ²	1.79	0.76	2.55	
		m ³	0.179	0.038	0.217	
橋座拡張工						
鉄筋工	SD345 D16	kg	150	146	296	
切削工	推定損傷厚 t=50mm	m ²	5.00	3.50	8.50	
		m ³	0.50	0.18	0.68	
削孔工	φ26	本	34	34	68	
		m	8.50	8.50	17.00	
接着材	エポキシ樹脂	kg	3.9	3.9	7.8	
普通型枠		m ²	7.12	5.49	12.61	
支保工		空m ³	1.83	1.65	3.48	
コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	1.55	1.23	2.78	

1. 上部工断面補修工

(1) 注入工法 (0.2mm以上0.3mm未満)

$$L = 0.9 = 0.9 \text{ m}$$

注入工法 (0.3mm以上)

$$L = 2.3 = 4.3 \text{ m}$$

(2) 断面修復工 (推定修復厚 $t=30\text{mm}$)

$$A = = 0.368 \text{ m}^2$$

$$V = 0.368 \times 0.030 = 0.011 \text{ m}^3$$

2. 下部工断面補修工

(1) 切削工 (A1橋台 推定損傷厚 $t=100\text{mm}$)

$$A = 0.63 + 0.20 + 0.30 + 0.66 = 1.79 \text{ m}^2$$

$$V = 1.790 \times 0.100 = 0.179 \text{ m}^3$$

(A2橋台 推定損傷厚 $t=50\text{mm}$)

$$A = = 0.76 \text{ m}^2$$

$$V = 0.760 \times 0.050 = 0.038 \text{ m}^3$$

(2) 断面修復工 (A1橋台 推定損傷厚 $t=100\text{mm}$)

$$A = 0.63 + 0.20 + 0.30 + 0.66 = 1.79 \text{ m}^2$$

$$V = 1.790 \times 0.100 = 0.179 \text{ m}^3$$

(A2橋台 推定損傷厚 $t=50\text{mm}$)

$$A = = 0.76 \text{ m}^2$$

$$V = 0.760 \times 0.050 = 0.038 \text{ m}^3$$

3. A1橋台橋座拡幅

(1) 鉄筋 鉄筋重量表より

$$\text{SD345} \quad \text{D16} \quad W = \quad = \quad 150 \text{ kg}$$

(2) 切削工 (推定損傷厚 $t=100\text{mm}$)

$$A = 1.000 \times 5.000 = 5.00 \text{ m}^2$$

$$V = 5.000 \times 0.100 = 0.50 \text{ m}^3$$

(3) 削孔工 $\phi 26 \times 250$

$$N = 2 \times 17 = 34 \text{ 本}$$

$$L = 0.250 \times 34 = 8.50 \text{ m}$$

(4) 接着材 (エポキシ樹脂)

(国土交通省 土木工事標準積算基準書 (河川・道路編) より)

$$W = \{ (0.026^2 - 0.016^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.250 \times 34 \} \times 1200 \times 1.15 = 3.9 \text{ kg}$$

(5) 普通型枠

$$A_1 = 0.400 \times 0.700 \times 2 = 0.56 \text{ m}^2$$

$$A_2 = 0.300 \times 0.100 \times 2 = 0.06 \text{ m}^2$$

$$A_3 = (0.700 + 0.300 + 0.300) \times 5.000 = 6.50 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 7.12 \text{ m}^2$$

(6) 支保工

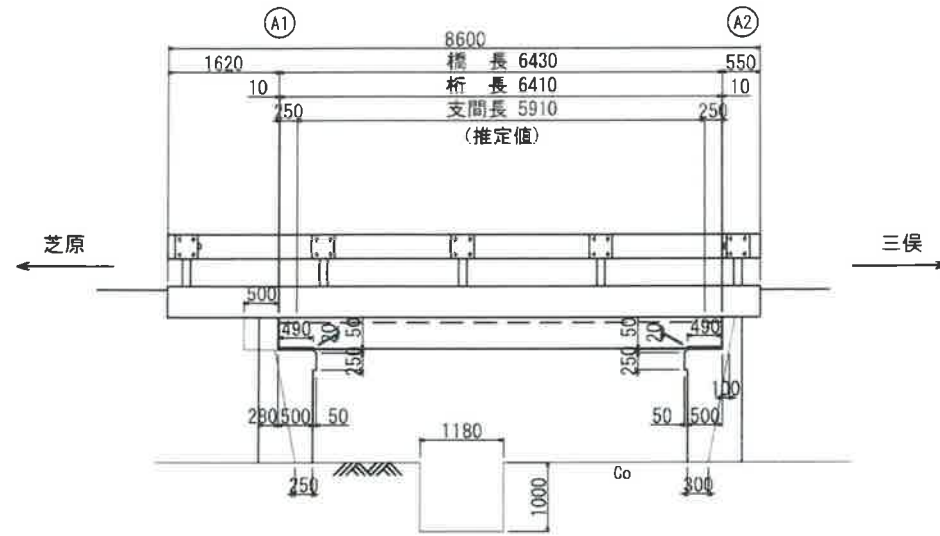
$$V = (0.950 \times 1.100 + 1.300 \times 3.900) \times 0.300 = 1.83 \text{ 空m}^3$$

(7) コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$

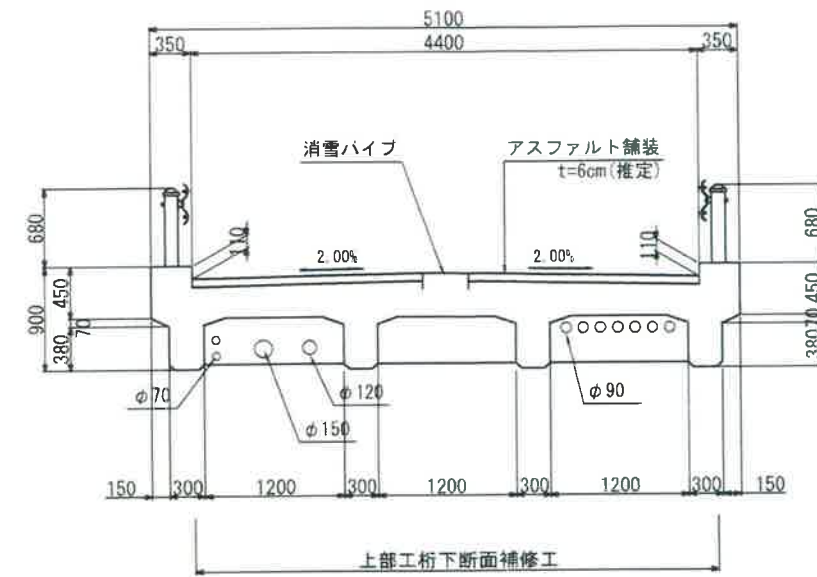
$$V = 0.400 \times 0.700 \times 5.000 + 0.100 \times 0.300 \times 5.000 = 1.55 \text{ m}^3$$

どんどん橋一般図

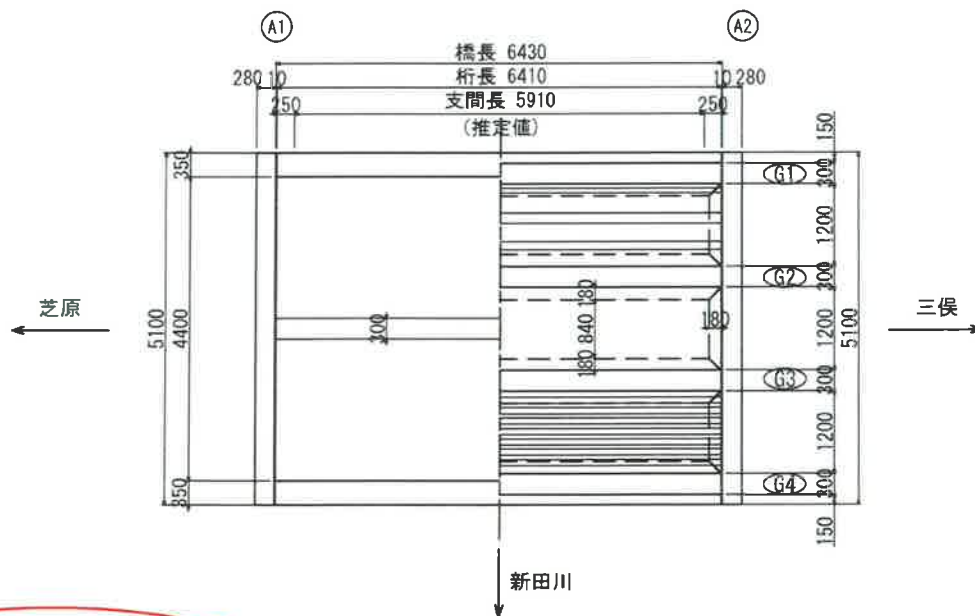
側面図 S=1:50



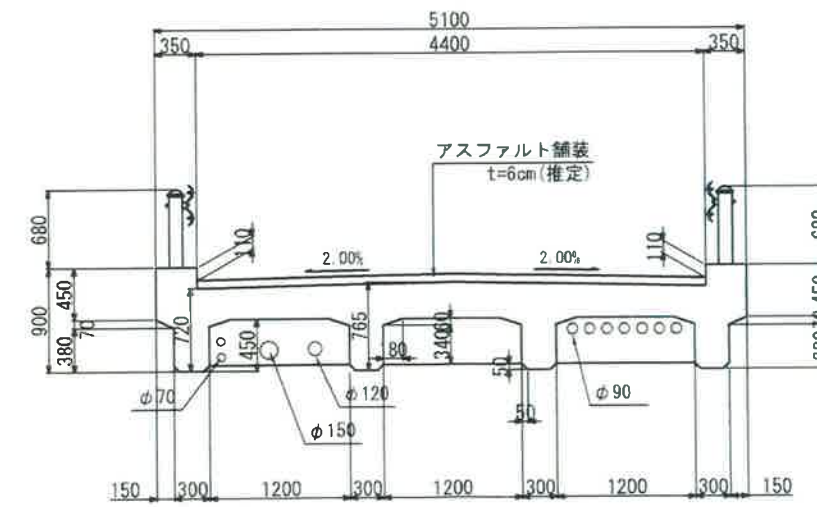
断面図 S=1:30



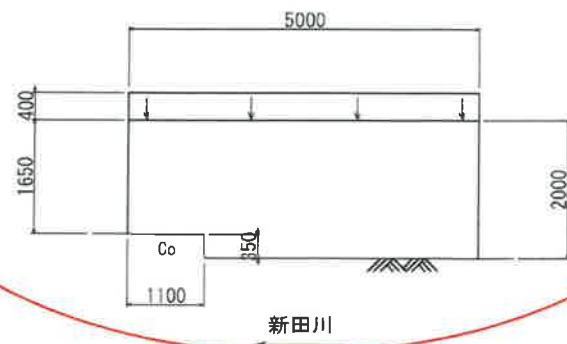
平面図 S=1:50



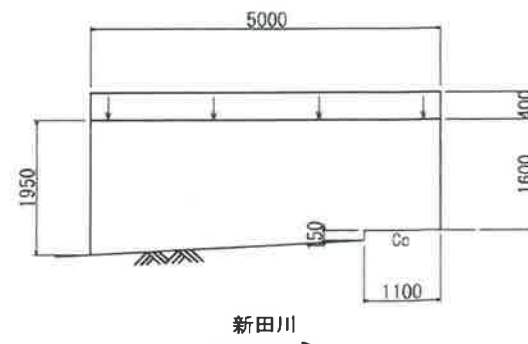
添架物詳細図 S=1:30



A1橋台 S=1:50



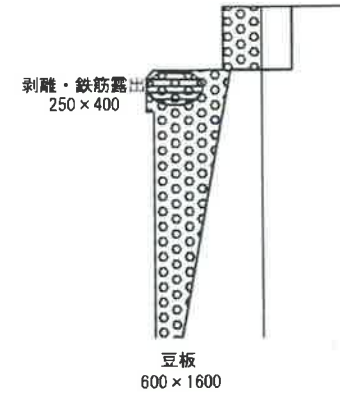
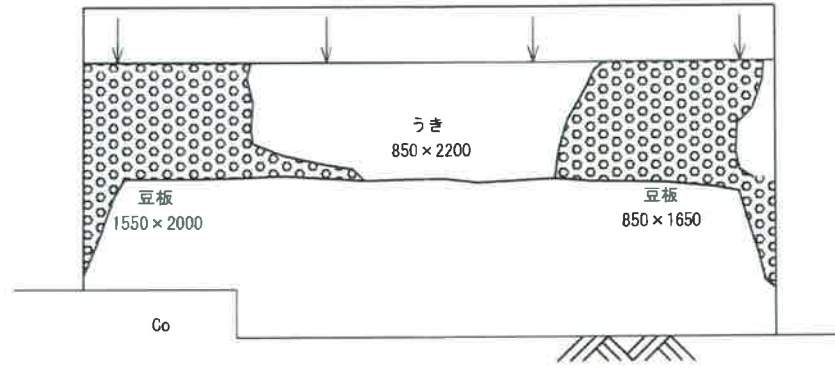
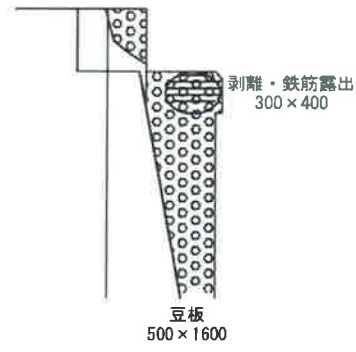
A2橋台 S=1:50



平成 26年	芝原	工事番号	号
新 田 市	芝原	三俣	三俣
芝原	三俣	三俣	三俣
工事			
どんどん橋一般図			
縮尺	図示	図面全	張の
製 図		年 月	主 任
設 計	株式会社	平成26年11月	主任
	キタック		技師
新潟県湯沢町			

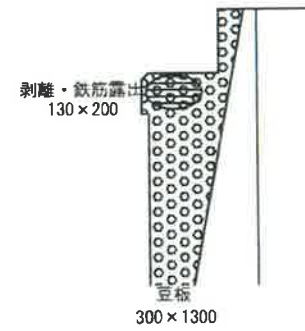
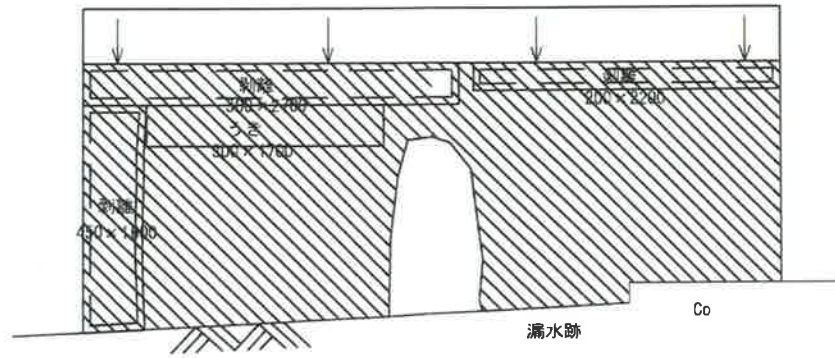
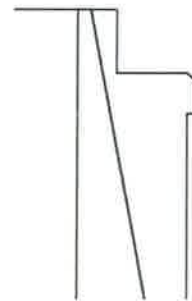
どんどん橋損傷図(2) S=1:100
下部工図

A1橋台



新田川 ←

A2橋台



→ 新田川

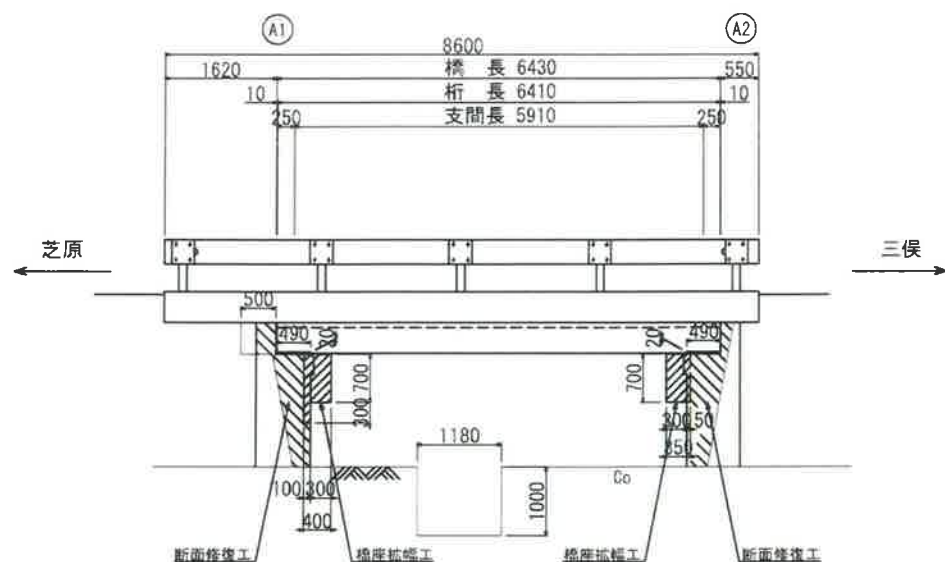
損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	0.2mm未満 0.2mm-5mm 0.3mm未満 0.3mm以上	遊離石灰	
剥離	0.2mm以上	豆板	
鉄筋露出	0.2mm以上	すり減り・侵食	
		滞水	
		その他	

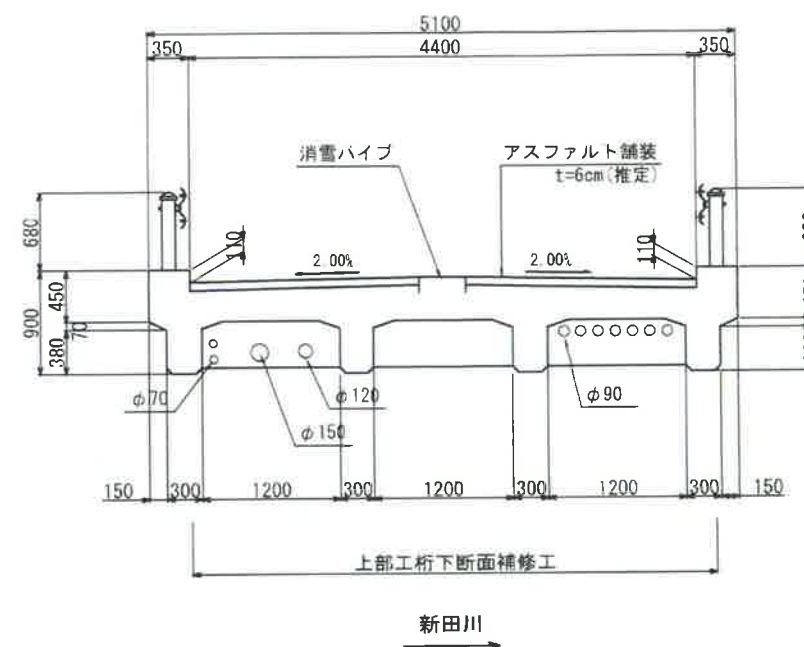
平成	年度	工事番号	号
町	区	番	号
芝原	三保	新	田
どんどん橋損傷図(2)			
幅尺	表示	断面全	9 要の 3
測量		平成	年月
設計	株式会社 ネタック	平成	26年11月
新潟県湯沢町			上

どんどん橋補修一般図

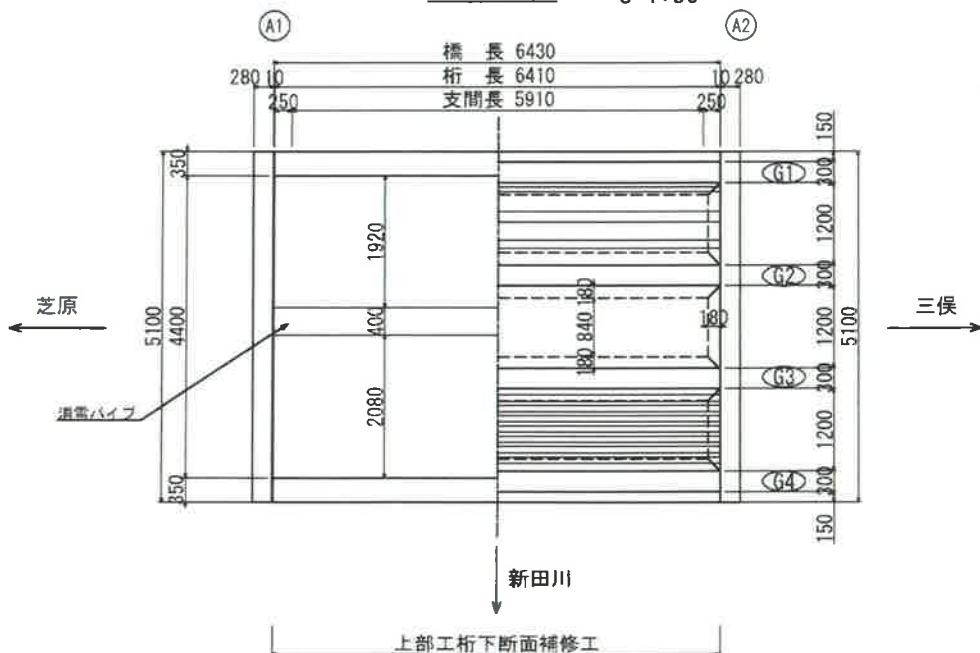
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



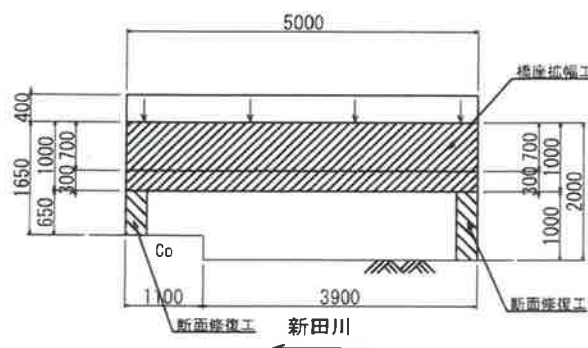
平面図 S=1:50



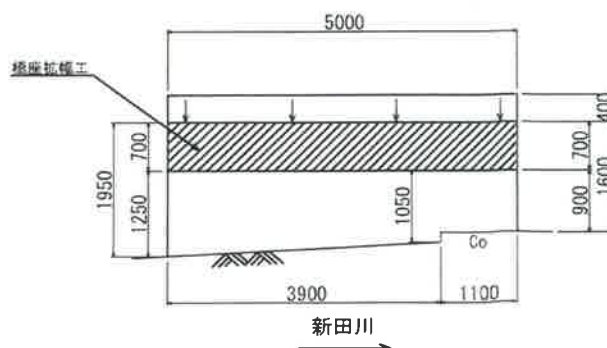
補修設計内容

補修工種	補修工法、仕様
上部工桁下断面修復工	ひび割れ補修工(注入工) 断面補修工(左官工)
下部工断面修復工	断面補修工(左官工)
桁かかり長	RC構造による橋座拡張工

A1橋台 S=1:50



A2橋台 S=1:50

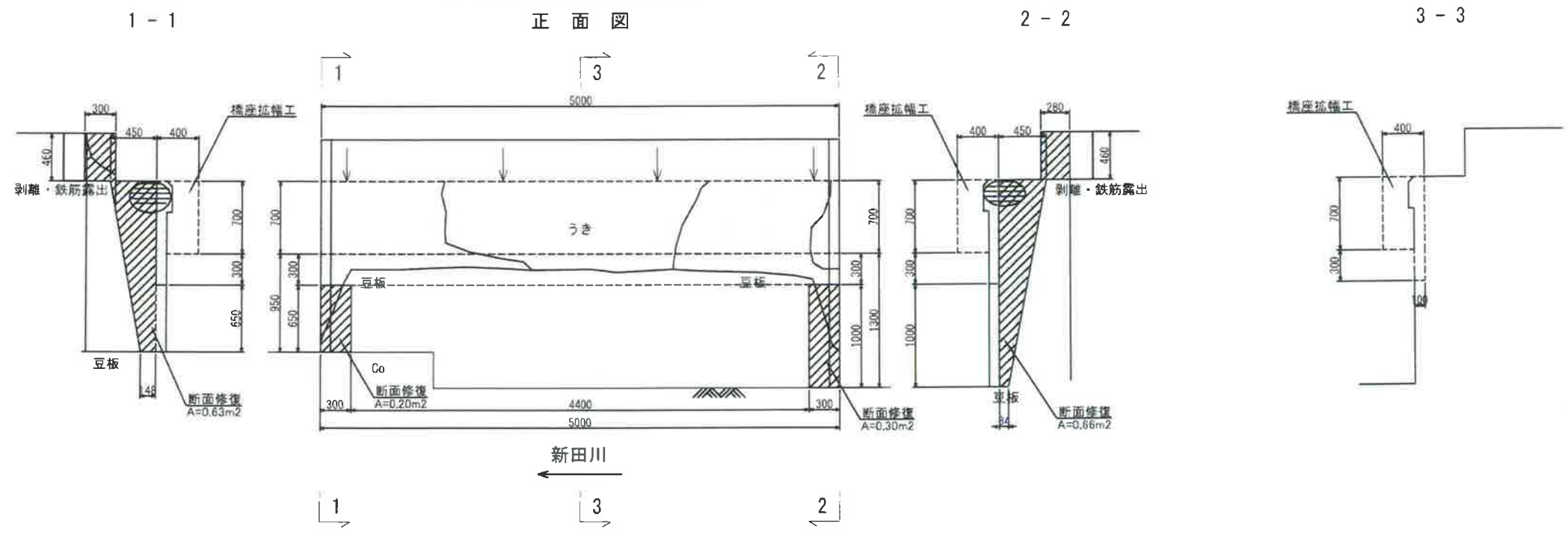


- 注記
- 1) A1橋台は表面から10cm、A2橋台は表面から5cm程度脆弱化していることを想定し、切削・復旧範囲を設定した。
 - 2) A1橋台前面の脆弱部は、橋座拡張部より30cm下方まで橋座拡張部と一体で打設することを想定し、それ以外の範囲を断面修復工で復旧する事を想定した。

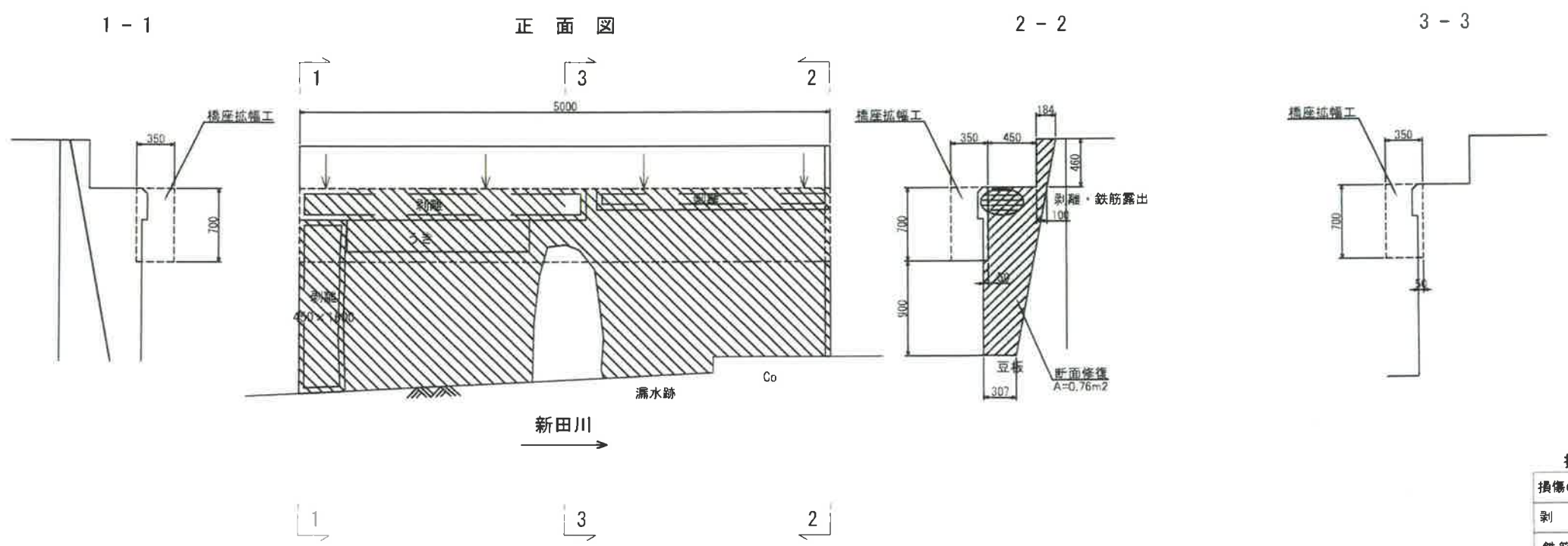
平成	年度	工事番号	号
伊	通	郡	市
芝	原	三	枝
新	田	川	村
大字	三	叉	地
内			
二			
どんどん橋補修一般図			
製	図	面	の
番	年	月	日
主	任	者	
主	任	者	
主	任	者	
新 潟 県 湯 沢 町			

下部工断面補修図 S=1:25

A1橋台



A2橋台



注記
 1) コンクリート打ち継ぎ箇所の旧コンクリート面は、チッピングを行い十分に粗面とすること。
 2) コンクリート打設時には、チッピングした面を水で十分に湿潤な状態にすること。
 3) 切削は既設コンクリート不良部をはつるものであり、切削範囲は現地合わせとする。ただし、支承部アンカーには干渉しないこと。
 (断面修復に用いるポリマーセメントモルタルは耐凍害性に優れるものを用いる事が考えられる。)

損傷の凡例

損傷の種類	表示
剥離	
鉄筋露出	
豆板	
滞水	

平成	年度	工事番号	号
市	道	郡	町
芝罘	三枝	新	市
大字三又 地区			
工事			
下部工断面補修図			
縮尺	表示	図面寸	9 葉の 7
業名		平成 年月	主任 技師
設計	株式会社 ムラック	平成26年11月	主任 技師 上村
新潟県 湯沢市			